

経営比較分析表（平成28年度決算）

北海道岩見沢市 総合病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	14	-	ド透未方	救臨感へ災輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
83,942	30,927	非該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

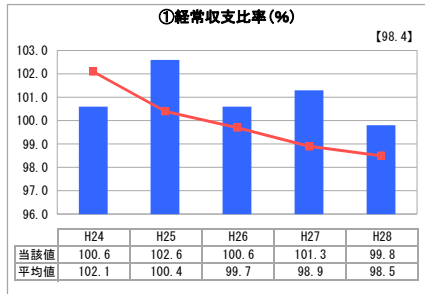
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
365	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
115	4	484
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
365	-	365

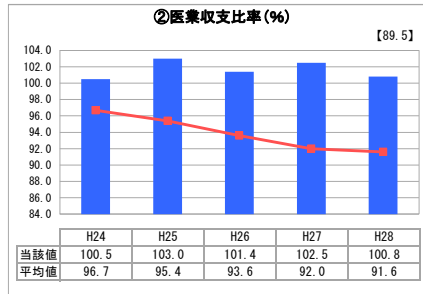
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

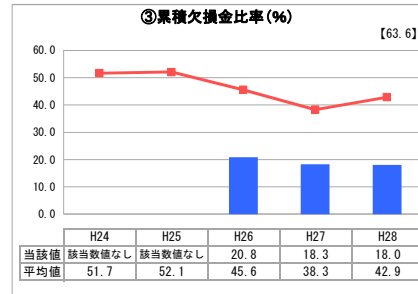
1. 経営の健全性・効率性



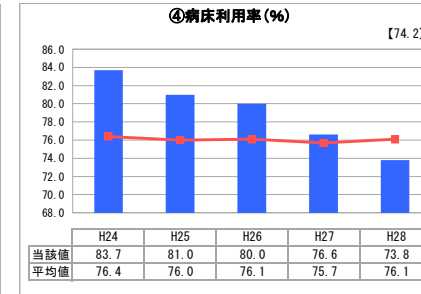
「経常損益」



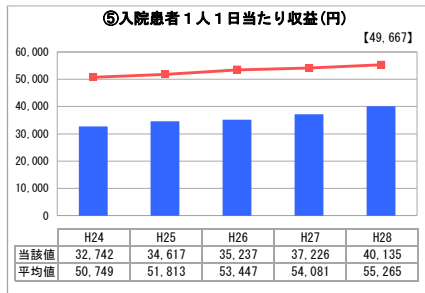
「医業損益」



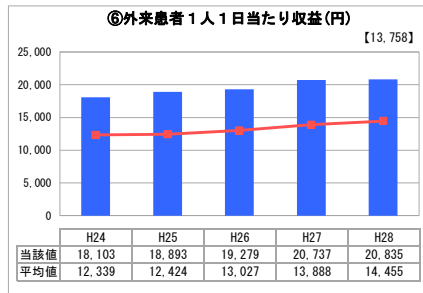
「累積欠損」



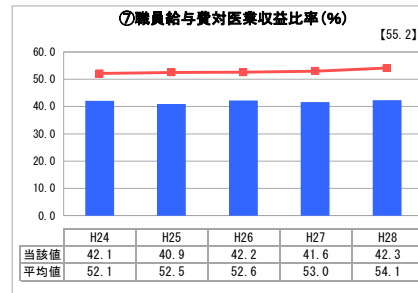
「施設の効率性」



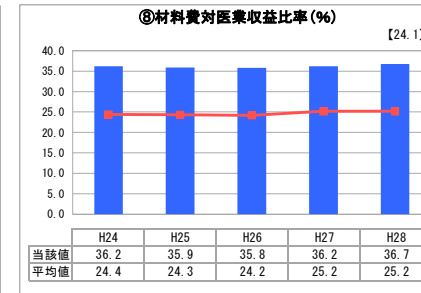
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

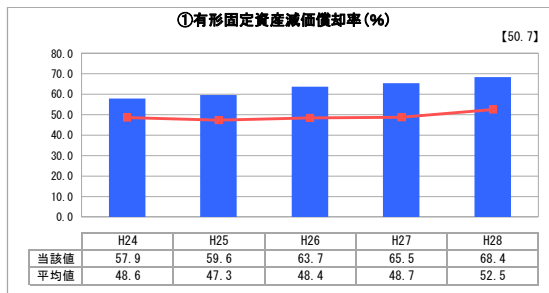


「費用の効率性①」

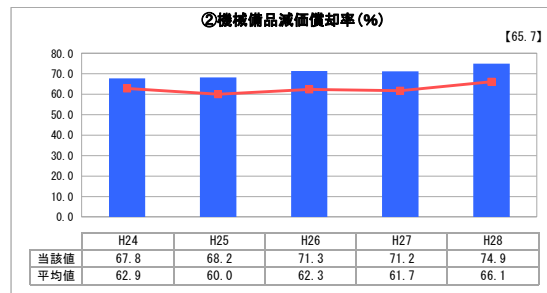


「費用の効率性②」

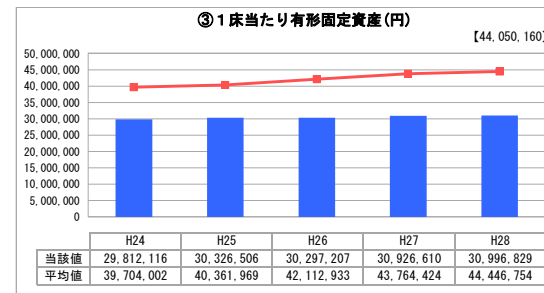
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

当院は、南空知圏域において救急医療、小児医療及び高度医療などに対応可能な地域センター病院として、圏域内の中核的な役割を担っているほか、災害拠点病院の指定、地域周産期母子医療センターの認定を受けており、当市はもとより、南空知圏域から多くの入院患者や外来患者を受け入れています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率及び医業収支比率は年度により増減があるものの、類似病院平均値を上回っている状況です。

累積欠損比率については、類似病院平均値を下回っております。

病床利用率は年々減少しており、平成28年度では類似病院平均を下回っております。

入院・外来患者1人1日当たり収益は年々増加しており、外来においては類似病院平均を上回っているものの、入院は下回っております。

職員給与費対医業収益比率は類似病院平均を下回り横ばいで推移しております。

材料費対医業収益比率は類似病院平均を上回り横ばいで推移しております。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率及び機械備品減価償却率は上昇傾向にあり、保有資産の老朽化が進んでおり、類似病院平均値を上回っております。1床当たり有形固定資産は概ね横ばいで推移しており、類似病院平均値を下回っております。

全体総括

施設等の老朽化が進んでおり、それに伴い、修繕・保守に係る経費等（減価償却費を含む）が年々増加傾向にあります。

収支に関して、経常収支比率は類似病院平均値を上回ってはいるものの、平成28年度は赤字となっており、今後、施設等の更新を進めていくためにも、入院・外来収益等の増収や経費削減等に努め、健全な病院経営を図っていく必要があります。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。